

日本造園企業年金基金（愛称：みどりの企業年金）

母体組織：（一社）日本造園建設業協会

正会員：876社（造園工事業を営む企業）

賛助会員：83社（企業・団体）

● 目的

造園技術の向上、造園事業の健全な発展を図り、もって緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造を目指しています。

● 組織体制

・本部：東京都文京区

・10総支部：地方整備局等を単位に設置

・47支部：全都道府県単位に設置

日本造園企業年金基金のプロフィール

H27.4.1設立 …… 日本造園建設業厚生年金基金【解散】の後継制度

289事業所、加入者数4,789名

定額（月額掛金8コース）3,500円～50,000円

年2回（4月、10月）追加加入、掛金変更受付

H28.4～加入可能業種を造園業のパートナー業種に拡大（建設・管工事・電気工事など）

→他の解散厚生年金基金加入事業所の受け皿に

厚生年金基金解散後の後継基金としては
H26年健全化法施行後第1号グループ

掛金の複数コース設定、加入者範囲の指定可能

【加入範囲の指定】

正社員のみ、役員のみ、●●退職共済未加入の社員etc.

【月額掛金額】

全員一率●円

役職、勤続年数などでランク分け、複数コース設定

2027年国際園芸博覧会 2027.3.19～9.26

国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造等を目的に開催される博覧会です。日本造園建設業協会は、園芸博覧会の承認機関である国際園芸家協会（AIPH）の窓口として、園芸博覧会に協力しています。



日本政府出展起工式

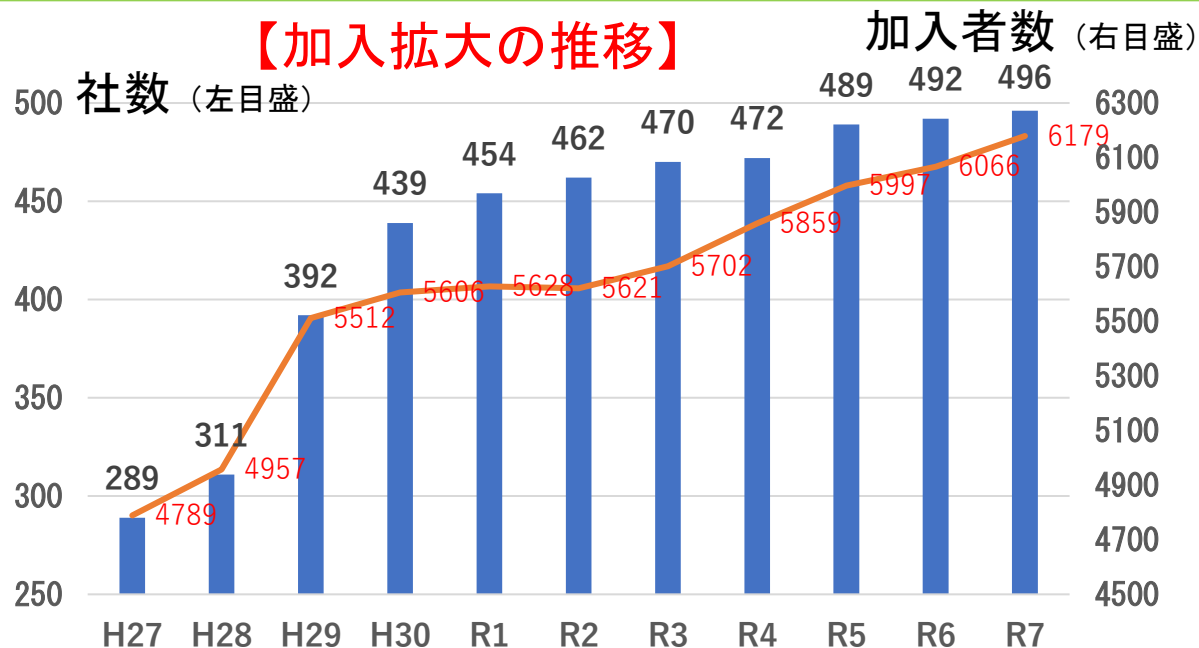
画像提供：（公社）2027年国際園芸博覧会協会
©2027年国際園芸博覧会日本政府出展起工式

追加加入勧奨活動

R7.10.1現在

加入事業所数496社 加入者数6,179名

【加入拡大の推移】



1

設立まで：解散する日本造園建設業（厚）加入事業所
アプローチ【工夫】 郵送：開封されない「下請け業者の営業か？」⇒何とか開封を。「説明会案内在中」プレ印字、母体・関連団体の封筒使用

2

他厚生年金基金加入事業所
 パートナー業種を加える。厚生年金基金解散のピーク年の半分出張のことも。**資料【工夫】** 分配金⇒金額と時間を持込める。時間はお金で買えないが・・・



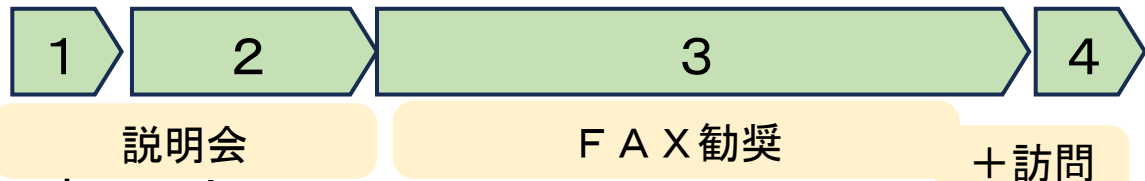
飼い猫に顔を忘れられた(泣)

3

企業年金未実施事業所への勧奨
 難易度飛躍的にアップ。説明会出席・成約率下がる⇒**効果的な勧奨【工夫】** F A X 勧奨へ。郵送より効果？ 団体の公開名簿⇒マッチングサイト検索

4

F A Xに加え事業所訪問（今年6月～）
アポ取り【工夫】 ゆるいアポ交え「アンケート訪問先＋周辺事業所」訪問。訪問してわかる事業所の現在のニーズとは？



全国10か所

全都道府県
(年2～4回)

【コア】 老後の備え、制度のしくみ
【サブ】 掛金損金算入、経営審査加点
役員加入OK⇒最近は訴求力顕著

従業員：退職共済、役員：金融商品で準備済 ところが！

企業年金未実施の事業主の皆様へ

退職時にその企業の本当の姿がわかる。

働いている従業員に会社を去った後の幸せを準備する意味。

生の声ご紹介

従業員への思い「ああこの会社で働いている人は幸せだなあ」

- 感涙**：庭職人さん、規程とは別に数百万円。「こんなに貰えるのですか」と感涙。
- 資産運用状況チェック**：掛金増額前に必ず運用状況を確認してくる役員。
- 他基金解散**：従業員3人が長く頑張ってくれている。当基金に加入したい。
- 再加入**：令和4年に基金加入可能年齢70歳に延長、脱退者126人再加入。
- 掛金調整**：格差ないよう定年の予想受取額から掛金逆算、調整をまめに行う会社。
- 療休の従業員**：倒産回避で脱退取消の療休女性、加入復旧手続するもご逝去の連絡。
「復職を果たし老後のために復旧してあげたかった」経営者の思い。